

平成28年度 公立学校教職員定期人事異動の概況の報告

学校人事課

1 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ① 全県的視野に立った広域交流に努める。
- ② 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ③ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- ④ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- ⑤ へき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

<校種別の内訳>

校種	職員数(人)	異動者数(人)	異動率(%)	前年度異動率(%)
小学校	5,127	1,450	28.3	23.8
中学校	2,993	875	29.2	22.8
高等学校	3,686	792	21.5	23.5
特別支援学校	1,336	322	24.1	26.7
合計	13,142	3,439	26.2	23.7

- ① 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数13,142人中3,439人が異動し、異動率は26.2%(前年度は23.7%)となっている。
- ② 退職者数は、小学校が169人、中学校が81人、高等学校が91人、特別支援学校が29人で合計370人である。(前年度は363人)
- ③ 管理職への昇任は、校長64人(12)、教頭70人(21)、合計134人(33)である。  
 \*H28 受験者数 校長・教頭 606(94) 合格者数193(44) 合格率31.8(46.8)  
 H27 受験者数 校長・教頭 611(92) 合格者数206(42) 合格率33.7(45.7)
- ④ 事務長への昇任は、課長相当職1人(0)、班長相当職3人(1)である。  
 ※( )内の数字は女性で内数
- ⑤ 副校長は、小中学校3人、高等学校3人、特別支援学校1人、主幹教諭は、小中学校13人、高等学校3人、特別支援学校5人の配置を行った。
- ⑥ 新規採用者数は、教諭442人、養護教諭12人、事務職員12人、学校栄養職員3人、その他職員18人 合計487人(前年度:504人)である。
- ⑦ 高等学校においては、養護教諭23校、教頭28校の複数配置を行った。
- ⑧ 栄養教諭については、単独調理場9人、共同調理場29人の配置を行った。

(3) その他(少人数学級の拡大)

小学校1年生から小学校4年生及び中学校1年生については、少人数学級(標準学級編制に比べ280学級増)を実施することできめ細かな指導の充実を図っていく。